

日本産業衛生学会東北地方会ニュース

みちのく

No.65

5/31

2021

発行/令和3年5月31日・発行所/日本産業衛生学会東北地方会事務局

住所/〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内)

電話/022-717-7874・FAX/022-717-7883・e-mail/sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp・発行人/黒澤 一

地方会の開催にあたって

第 80 回日本産業衛生学会東北地方会 学会長

秋田大学衛生学公衆衛生学講座

教授 野村恭子

この度、第 80 回日本産業衛生学会東北地方会は、秋田において開催させていただきますが、2021 年 5 月現在、新型コロナウイルス感染拡大のため、感染対策を十分に行った上での現地と web のハイブリッドの開催か完全オンライン開催を計画しています。しかし、変異株を含めた COVID-19 の感染拡大傾向は予断を許さない状況であり、国内の流行状況に十分留意し、開催方法を検討していきます。新しい情報は、秋田大学衛生学公衆衛生学講座のホームページにバナーを貼りましたので、適宜、ご参照お願いいたします。

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~pbeisei/>

この 1 年余りで新型コロナウイルス感染症は社会経済面へ多大な影響を及ぼしました。景気後退による経済への影響は飲食・宿泊業など特定の業種の関係者のみならず、世界全体に大変深刻な影を落としました。さらに、我々の生活も人との接触や移動を最小限にする生活を余儀なくされ、コミュニティからの隔絶等々が、どれだけ精神面に負の影響を及ぼしたのでしょうか。今回の基調講演は、「ウイズコロナ社会の働く人のメンタルヘルス対策：秋田県自殺対策からの応用」とのタイトルで秋田大学保健学科准教授の佐々木久長先生にご講演を頂く予定としております。佐々木先生は、秋田県の自殺対策に長年携わっており、県、自治体、NPO、県民運動にも広くリーダー的存在として強く支持されています。特に、自殺のゲートキーパー育成では監修を務められ、今回のご講演では、新型コロナウイルス感染流行下における労働者の精神衛生について最新のエビデンスを拝聴できることと期待しております。

残念ながら恒例の事業所見学は今回ありませんが、東北における産業衛生の様々な課題解決に向け、積極的な討議の場として皆様にご参加いただけますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第 80 回 日本産業衛生学会東北地方会開催要項 メインテーマ：「ウィズコロナ社会の産業保健」

学会長：野村 恭子

秋田大学医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授

1. 会場 秋田県総合保健センター・秋田県医師会会議室（秋田駅西口より徒歩 10 分）
〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町 6-6
新型コロナウイルス感染症の状況に応じて Web 開催に移行します
2. 開催日 2021 年 7 月 24 日（土）
3. 参加費：1,500 円
4. 参加申込：学会用 web ページ <http://www.med.akita-u.ac.jp/~pbeisei/sanei/> の参加案内に示された事項を記載したメールを事務局に送り、参加登録をしてください。開催方法が確定次第それを通知します。Web 開催になった場合は、その通知後に参加費を振り込まれた方へ会議アドレス等をお送りします。
5. 発表・講演・その他企画
 - (1) 一般口演 9:30~12:00 一演題発表 7 分質疑 3 分
演題申込には事務局 (iwatat@gipc.akita-u.ac.jp) にメールをお送りください（説明は <http://www.med.akita-u.ac.jp/~pbeisei/sanei/endai.html>）。A4 1 ページの MS-Word ファイルを抄録原稿として 6 月 25 日（金）までに、産衛誌掲載用 400 字の要旨を当日までにご提出ください。
 - (2) 代議員会および総会 12:10~13:20
 - (3) 特別講演 13:30~15:00
演題 「ウィズコロナ社会の働く人のメンタルヘルス対策：秋田県自殺対策からの応用」
演者 佐々木久長先生（秋田大学医学系研究科看護学講座）
座長 野村恭子（秋田大学医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座）
 - (4) 第 27 回産業看護のつどい（産業看護部会） 15:10~16:40
産業看護師研修
演題 「一発でわかるナッジ」
演者 竹林正樹先生（青森県立保健大学）
産業看護部会総会

(5) 第25回産業医協議会（産業医部会）15:10～16:40

テーマ「温故知新～先輩産業医からのメッセージ」

座長 各務竹康先生（福島県立医科大学 衛生学・予防医学講座）

菅原 保先生（本間病院）

演題1「東北地方会産業医部会創立の理念」

演者 中屋重直先生（前東北厚生局）

演題2「臨床・臨床医に必須として産業医学・産業衛生に取り組み続けて50年」

演者 広瀬俊雄先生（錦町診療所・産業医学センター）

(6) 産業衛生技術部会 15:10～

演題 「健康と運動」健康を運動で得るには、1. 何の運動を？ 2. どれ位の運動強度と時間で？ 3. 何日間行うか？ 4. 目標達成の原則と理論

演者 神田 晃先生（弘前大学医学研究科 食と健康科学講座）

(7) 産業歯科部会 15:10～ 交流会

(3)と(5)は日本医師会認定産業医研修（それぞれ生涯研修 専門 1.5 単位）、(3)と(4)は産業看護専門家制度の単位申請中です。産業医研修の単位はオンサイト参加者のみに認められます。産業看護専門家制度の単位は Web 参加になった場合でも認められます。

お問い合わせ先（事務局）

秋田大学 衛生学・公衆衛生学講座（担当岩田）

Tel 018-801-7032 Fax 018-836-2609

iwatat@gipc.akita-u.ac.jp



COVID-19 関連の役に立つ情報

1. 「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」更新版について

令和3年3月25日厚生労働省から公表されました。詳しくは

<https://www.mhlw.go.jp/stf/teleworkgl.html>

をご参照ください。

2. 「職場における新型コロナウイルス感染症対策のための業種・業態別マニュアル」の公開について

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

「職場における新型コロナウイルス感染症対策のための業種・業態別マニュアルの作成に資する研究」（主任研究者 川上憲人 公益財団法人 日本産業衛生学会 理事長）の研究グループにより作成された、業種別マニュアルが、日本産業衛生学会 HP に掲載されております。

- 1) オフィス業務
- 2) 製造業
- 3) 建設業
- 4) 接客業務
- 5) 運輸業（旅客輸送）
- 6) 運送・配送サービス業

詳しくは、<https://www.sanei.or.jp/?mode=view&cid=444> をご覧下さい。

* 地方会事務局に冊子版が若干ございますので、ご希望の方は地方会事務局に御連絡ください。

3. 「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」

（第5版：令和3年5月12日更新）

編集：一般社団法人 日本渡航医学会 公益社団法人 日本産業衛生学会

<https://www.sanei.or.jp/?mode=view&cid=416>

産業医部会**産業医部会報告**

医療法人健友会 本間病院

菅原 保

福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

各務 竹康

東北地方会産業医部会員の皆様、お世話になっております。本年度より学会役員の新たな任期となり、前期に引き続き菅原、各務の2名で東北地方会の幹事を務めさせていただきます。改めて、よろしくお願ひいたします。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、夏の学会における産業医協議会は中止となり、企画は今年の学会に持ち越しとなりました。テーマを「温故知新～先輩産業医からのメッセージ」としまして、中屋重直先生(前東北厚生局)および広瀬俊雄先生(錦町診療所・産業医学センター)より講演を頂く予定です。

この1年、産業医学研修会も中止が相次ぎました。現在のところ産業医学研修会は対面での実施が原則となっており、演者のみオンライン可能(座長は現地)、サテライト会場を設置する際は現地にて質疑応答に対応できる体制が必要、など様々な制約があり、研修会のオンライン化は進んでいない状況です。完全オンラインでの単位取得が可能となるのが先か、ワクチンが普及し従来どおりに集まることができるのが先か、様々な形に対応できるよう、準備を進めていけたらと考えております。

産業看護部会**産業看護部会報告**

産業看護部会 幹事

村越 亜弥子

今年度より、前任の千葉先生が、全国看護部会の副会長になられた事で、村越が東北看護部会の部会長を仰せつかりました。そして副部会長を、森鍵祐子先生(山形大学)をお願いする事になりました。よろしくお願ひ致します。

新型コロナ感染拡大の中で、未だに運営委員が集まる事が出来ず、メール・TV会議を重ねて、7月24日の秋田での東北地方会の準備を進めている所です。地方会での看護部会の活動を紹介します。開催方法については、今後のコロナの状況により決定致します。

★第28回産業看護のつどい(産業看護部会)

15:10~16:40

・産業看護職研修 演題

「一発でわかるナッジ」

演者 竹林正樹先生(青森県立保健大学)

・産業看護部会総会

また、今年は初めて関東地方会の産業看護部会で学術集会が開催されます。オンラインでの参加も可能です。産業看護部会HPにある「第1回日本産業衛生学会 産業看護部会学術集会 参加登録」よりお申し込みください。



産業衛生技術部会**令和3年度産業衛生技術部会の活動計画**

東北地方会 幹事
河合 直樹

■東北地方会（2021年7月24日：秋田）

◎情報交換会：話題提供「健康と運動」

神田晃先生（弘前大学）

※懇親と交流の場を提供することが当地方部会のモットーなので、ハイブリッドでの開催となった場合には、翌年まで延期とさせていただきます。

■第31回全国協議会(2021年12月2日～4日：津)

※ハイブリッド開催

◎産業衛生技術シンポジウム(企画担当：東海地方会)
「テレワーク・在宅勤務における労働環境の問題と今後の課題」

座長：中原浩彦

演者：齊藤宏之（労働衛生全般），
榎原 毅（エルゴノミクス分野），
佐々木那津（メンタルヘルス分野）

◎専門研修会：「労働現場の安全衛生活動推進に資する連携と協働 ～現場が動く，現場を動かす，キーパーソンは衛生管理者～」

座長：北山 勉（北山労働安全衛生コンサルタント事務所），榎原洋子（愛教大）

演者：(株) エフ・シー・シー（演者未定）：化学物質管理活動における衛生管理者の役割（仮題），大場恵史（東海化学分析研究所）：「作業環境測定機関の測定現場における環境改善提案事例」，土山智之（名古屋大学客員研究員）：「皮なめし工場の労働者の健康リスク調査」

■本部からのお願い

部会会員の拡充を図るべく、特に若手技術者・研究者への入会勧奨をよろしくお願いいたします。

歯科部会**歯科部会報告**

歯科部会 幹事
井川 資英

歯科部会幹事の井川でございます。今回は秋田市での地方会に合わせ、秋田市在住の小林崇之先生に執筆頂きました。

歯科部会
小林 崇之

小林崇之です。労働衛生コンサルタント（保健衛生）の取得を目指したのがきっかけで、日本産業衛生学会に入会いたしました。現在は秋田市中通で安倍歯科医院を開業しております。開業してから公衆衛生に関わる機会をいただきまして、秋田市歯科医師会では地域保健理事（旧公衆衛生理事）、秋田県衛生士学校では公衆衛生の講義を担当しております。

せっかく取得しました労働衛生コンサルタントとしては現在のところ活動はしておりません。企業健診は行っておりますがどこまで受診者の皆様に有益な事が出来たかは大変考える事がございます。現状を考えれば秋田県での産業歯科に関する分野はこれから多くの発展が見込めるのではないかと考えております。

5月13日にこの原稿を書いております。5月9日にコロナに関する秋田市の警戒レベルが4に引き上げられました。「みちのく」が発行される際にはレベルが引き下がっていただければいいのですが、本当に新型コロナウイルスに関しましてはお読みの皆様も一緒かと思いますが毎日心がすり減る毎日かと思っております。新型コロナウイルスが少しでも収束するのを祈りつつ秋田での学会で皆様をお待ちしております。



会員の異動（令和2年12月から令和3年4月）

■青森県

新入会 三上 莉沙
(東北電力株式会社青森支店)

退会 河津 俊太郎
照山 由紀子
美濃 陽介

■岩手県

転出 青柳 美樹
(愛知県へ)

■秋田県

新入会 柏谷 郁美
(株式会社秋田魁新報社)

退会 佐藤 雅子
南部 泰士

■山形県

新入会 矢嶋 元
(東北エプソン株式会社)

退会 板垣 有香
木村 相樹

■福島県

退会 小野 道子
佐藤 望
高久 泉

■宮城県

新入会 荒科 悠子
(自衛隊仙台病院)

菅野 恭加
(東北大学病院)

西條 尚男
(宮城県塩釜保健所)

佐々木 唯那
(東北大学大学院医学系研究科保健学専攻)

転入 大江 奈津子
(東京都より)

転出 福永 久典
(北海道へ)

退会 佐々木 唯那
佐藤 昭子
佐藤 友則
塚田 甲
日比野 恵子
渡辺 紀予子
和田 彩

編集後記

昨年「みちのく」(63号)の編集後記に、「無事に収束を迎え、次年度こそは、秋田県で開催される地方会で会員の皆様と明るい気持ちで再会したいものです。」と記載し1年が経過しましたが、医療従事者や高齢者を対象としたワクチン接種が進行中ではあるものの、収束を迎えるのはもう少し先になりそうです。本誌が発行される5月末の段階では、今回、地方会学会事務局をお引き受けくださった秋田大学衛生学・公衆衛生学講座の野村教授・岩田先生らの多大な御尽力によりハイブリット・完全オンライン、いずれかでの開催を念頭に、COVID-19の感染状況を観ながら日々ご検討を頂いております。東北地方会会員の皆様におかれましては、ご所属事業場での感染症対策の中心となってご活躍される中での開催とはなりますが、どのような形式であれ多数の地方会会員にご参加いただき、コロナに負けず、盛会となりますよう、ご支援頂きますと幸いです。(T. I)